

# 極低温から高温まで正確に、 温度測定の特化企業



自動化ライン



定点セル

日本の温度標準器として東京の国立科学博物館に展示されている



YAMARI INDUSTRIES, LIMITED

山里産業株式会社

(温度センサー専門メーカー)

機械・装置

## 事業概要と躍進の契機

1955年、熱電対(温度センサー)とその関連機材の輸入販売会社として創業。センサーメーカーとして成長し、LNG液化ガス貯蔵タンクにおけるマイナス200 近辺の低温から、ウラン焼成炉における2千数百 の高温まで蓄積されたオリジナルセンサーを製造、国内シェアは

## 温度センサー専門メーカー

30%を有している。又、標準室はJCSS認定事業者に認定され、国家標準とのトレーサビリティが保証された温度計により、プロセス管理・試験・検査などの温度計測ができる。

Turning Points

## 会社の強み・主力商品など

温度を正確に測定できるのが同社の強み、-196 から2000 近くまでの領域を測定できる。海外の子会社で素材製造を行い、輸入の上、国内でアッセンブルし、一貫生産を行っている。この一貫作業工程を行うことができるのは国内でもほとんどない。金属シースと熱電対素線を高純度マグネシウム粉末で固く充填し、気密状態に

## 極低温から高温まで 測定

した絶縁性と高耐圧性を持った「シース熱電対」の製造が特徴。そのシースを材料に燃料電池・太陽電池・量産品用熱電対は、高温並びに還元雰囲気下での安定性を高めた新開発熱電対線を用いる。樹脂成型スリーブによる小型化と高い絶縁性を有し、独自の自動化製造ラインによる安定した品質と低コストを実現している。

Strength

## 今後の事業展開

## コスト減・CO2排出量削減に資するヒートパイプ



最近では産学連携により、ビニールハウス作物栽培の土中加温にシースマイクロヒータを熱源とした、ヒートパイプを製造している。ビニールハウス用のヒートパイプは小さな温度差で大量の熱を伝達する装置。通常のピ

ニールハウスでは燃料を使用するためコスト及びCO2排出量が高くなるが、その軽減に資することができる。幅広い用途に事業展開していく。

Vision

## 企業データ

所在地：〒569-0835 大阪府高槻市三島江1-5-4

TEL：072-678-3453 FAX：072-678-3516

URL：http://www.yamari.co.jp

設立：1955年(昭和30年)

代表者：代表取締役社長 則武 正平

従業員：232名

資本金：7000万円

